第１回 大成小学校跡地活用検討会議 議事要旨

１ 日時 令和８年７月 28 日（火） 19 時 00 分から 19 時 55 分

２ 場所 大成地域集会所

３ 出席者

（委員）

澤委員、白取委員、竹束（照）委員、竹束（正）委員 、西野委員、萬谷委員

（東成区役所）

春木区長、樽本副区長、谷口総合企画担当課長、朝田まちづくり推進担当課長代理、総務課担当係員

４ 議題

（１）大成小学校跡地の活用の基本的な考え方

（２）その他

５ 会議資料

・会議次第

・（資料１）大成小学校跡地活用検討会議（第１回）

・（資料２）大成小学校用地の跡地活用について（参考）

・（資料３）大成小学校跡地活用検討会議開催要綱

・（資料４）大成小学校跡地活用検討会議メンバー名簿

６ 議事要旨

（１）東成区長　あいさつ

（２）事務局から資料説明

・大成小学校跡地は、これまでの経過・地域要望を踏まえ「売却ありき」ではなく、地域防災・まちづくりの観点から活用検討を進める方針。

・大成小学校跡地活用における、大きな方向性は以下の 3 点。

（ア） 地域防災拠点機能の確保（避難所機能、備蓄物資の保管、避難訓練の実施機会の確保等）

（イ）地域コミュニティ機能の確保

（ウ）行政機能の集約化・多機能化（区庁舎を核とした庁舎の複合化）

（３）質問・意見等の概要

① 行政機能の集約化・多機能化に関する意見

・跡地に区庁舎を核として、行政施設を集約化・多機能化する案は、良い案だと思う。

・跡地は、幹線道路に近く、アクセス性が高い。また、まとまった土地としても貴重である。拠点として重要となり得ると思うので、全体の最適の観点で検討の余地があると考える。

・現校舎は解体することになるのか。

② 地域活動の継続場所の必要性

・地域行事・活動や防災拠点としての機能を確保できないと、地域活動の場がなくなり、運営が厳しくなる。

・複合施設化する場合も、多目的室・講堂等の設置により、地域利用ができるようになればと思う。

③ 跡地の活用の可能性

・学校跡地だけでなく、隣接するバス車庫等も含めて視野に入れて検討してはどうか。

④ その他

・区役所は、災害時は職員の指揮機能（区の災害対策本部）として必要。複合施設になった場合、避難者の受け入れをどのように両立するのか。複合施設になった場合、避難者を受け入れる機能・施設が必要である。

７　確認事項（委員の総意として確認）

・跡地は「売却しない」前提で検討を進めること。

・大きな方向性は以下のとおり

1. 地域防災拠点機能の確保
2. 地域コミュニティ機能の確保
3. 行政機能の集約化・多機能化（区庁舎を核とした庁舎の複合化）